

いのちのたび

〒805-0071 北九州市八幡東区東田二丁目4番1号
Tel 681-1011 Fax 661-7503
https://www.kmnh.jp/
発行：いのちのたび博物館 ミュージアムティーチャー



今回の夏の特別展は、2014年夏に開催した「THE モンスター展」の第二弾です。前回のTHE モンスター展は「生物の大きさの不思議」をテーマに開催し多くの方にご来場いただきました。今回は生物が生き残るために繰り広げている「攻撃と防御」をテーマに、絶滅してしまった種から現生種までの生物を幅広く展示し、生物が生き残るための多様な工夫を知っていただきたいと思ひます。ゲームの世界にあるようなシンプルな「攻撃と防御」だけではなく、生物が進化の中で獲得した驚くような機能や行動にもぜひご注目ください。皆様のご来館をお待ちしております。

すごい！複眼



アノロカリス類 (生体復元)

強い顎と複眼が特徴！それを生かし、カンブリア紀の食物連鎖の頂点に君臨！

「しなやかな」身体

軽い体と長い脚、よく曲がる背骨がご自慢なの！

闘え！

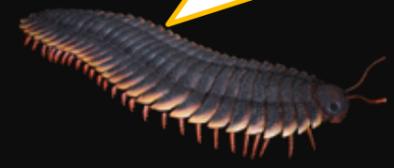


出したままの爪！

これが地面にささり、スパイクの働きをしているの♡

すごい！強烈な顎

硬い殻がご自慢さ！



まも守れ！

チーター

逃げる獲物を捕らえるために、相手よりも速く移動することが大切！最速、時速100kmほどの速さで走ることができます

アースワレウラ・アルマータ (生体復元)

鎧を纏った史上最大の陸上節足動物

トゲトゲがご自慢なの！



ハリネズミの一種

トゲトゲの構造で敵を寄せ付けないようにしています。

ひっそり

はんげき反撃！

アイソメヤドクカエル

鮮やかな青色で、みんな僕にメロメロさ♡
“でも僕は毒をもっているんだよ！”



コノハムシ

葉っぱに化けて身を隠しています。葉っぱに似ていることで、他の生き物からみつけにくいようにしています。

スプリングボック

目が顔の横側に位置しているため、視野が広く周囲を見渡せるようになっています。

視野が広いから、みんなのことをすぐに見つけることができるの！
すごいでしょ♪



ミュージアムのタネ

きょうりゅう ちょうるい しんか しょうこ
恐竜から鳥類へ：進化の証拠

学校の教科書、恐竜の本や図鑑などでは「恐竜から鳥類が進化した」ことや、小型の肉食恐竜（獣脚類恐竜）の「羽毛」を生やした復元図が紹介されていると思ひます。これらは化石の発見やその研究によって明らかになってきたことで、それを年代ごとに簡単に紹介したいと思ひます。

1860年代

- ・始祖鳥の化石がドイツで見つかる
- ・恐竜が生きていた中生代に「羽毛」を持つ鳥類がすでに登場していたことがわかる
- ・この当時、羽毛を持つ生き物は鳥類だけだったので、始祖鳥は「最古の鳥類」とされる

1970年代

- ・アメリカの恐竜研究者ジョン・オストロム博士が始祖鳥の化石を研究して、鳥類（始祖鳥）と小型の肉食恐竜（獣脚類）の骨格の共通性などを明らかにする
- ・これにより鳥類の恐竜起源説が支持されるようになる

1980年代

- ・コンピュータを用いた「分岐分析」という研究方法により、骨の様々な特徴の共通性から鳥類は恐竜の中の1グループの獣脚類恐竜の中から進化したと示される

1990年代

- ・中国の遼寧省の白亜紀前期の地層から、羽毛のような構造を持つ小型の獣脚類恐竜の化石が発見される

2000年代

- ・様々な「羽毛」を持つ獣脚類恐竜が報告される
- ・羽毛だけでなく、卵を温めることなどの行動も獣脚類恐竜と鳥類で共通することを示す化石が見つかる
- ・羽毛から色を復元することができ、一部の羽毛恐竜の色がわかる

現在

- ・羽毛は獣脚類恐竜の多くのグループが持っていたこと
- ・羽毛のような繊維状の構造は獣脚類恐竜だけでなく植物食の恐竜の一部のグループも持っていたこと
- ・前あしだけでなく後ろあしにも翼のような羽毛を持つ恐竜がいたこと
- ・羽毛が最初は飛ぶためではなく体温調節やディスプレイのような働きをしていたことなどが明らかになっている

今では沢山の化石から、恐竜から鳥類への進化をある程度連続的に追えることができるようになってきました。中生代のジュラ紀後期には鳥類が誕生しており、白亜紀は羽毛恐竜と鳥類が共存していました。

ですが、なぜ白亜紀末の6600万年前に鳥類となった恐竜だけが生き延びることができ、羽毛恐竜は他の恐竜などと同じく絶滅してしまったのかは今でも解明されていません。

